

Ⅲ. 新型コロナウイルスの影響下での精華町における ホテル需要調査

1. 新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および周辺企業への出張需要調査
2. 町内ホテルにおける今後のビジネス施策の検討

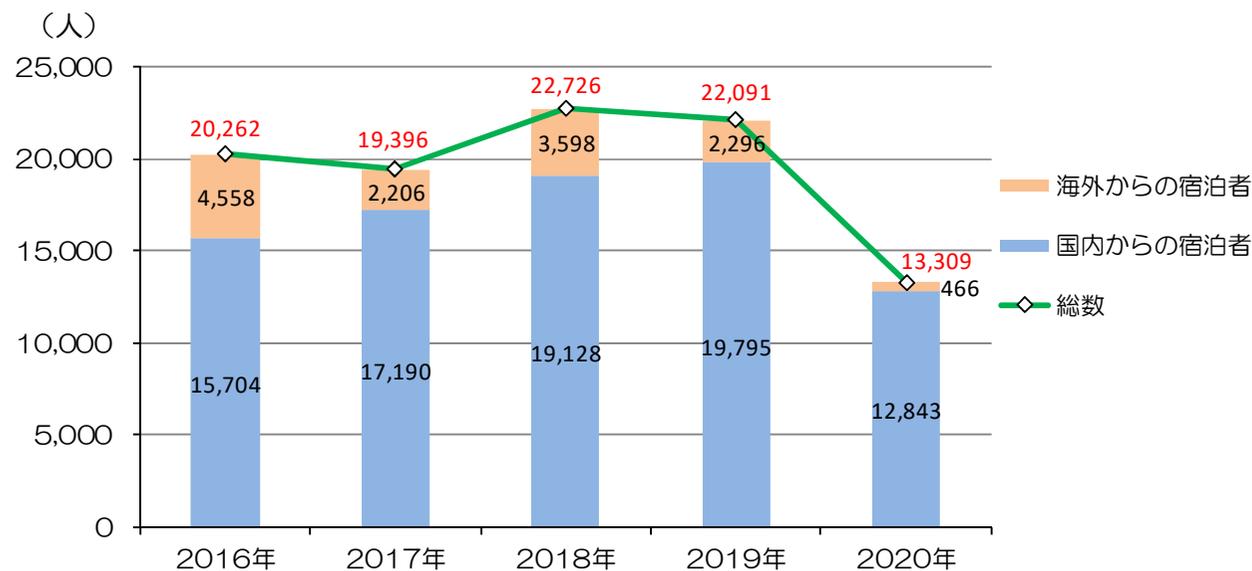
「1.新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および周辺企業への出張需要調査」、「2.町内ホテルにおける今後のビジネス施策の検討」につなげるため、町内ホテルの「けいはんなプラザホテル」、学研企業に対してヒアリングを実施しました。

Ⅲ-1.新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および 周辺企業への出張需要調査（宿泊者数の推移①）

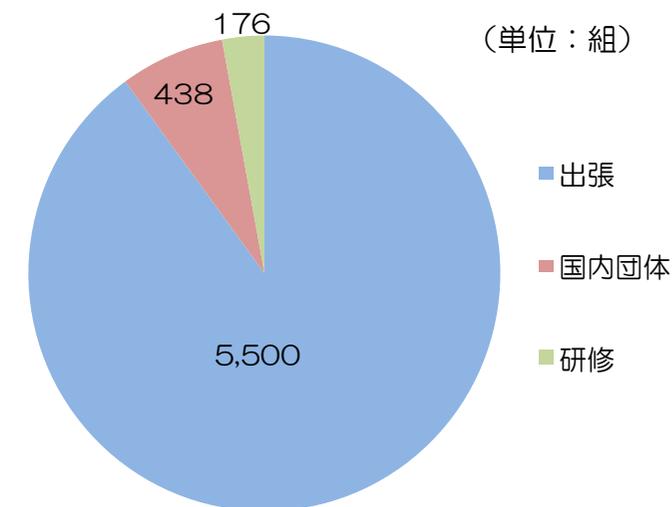
精華町における宿泊者数の推移をみると、2016年から2019年まで概ね20,000人前後で推移している。内訳をみると、海外からの宿泊者は年によりブレはあるが、国内からの宿泊者は増加傾向が続いていた。

精華町における宿泊者は約9割が出張であることから、新型コロナウイルス感染症の影響下でも比較的影響は小さく、2020年の宿泊者数は例年と比較して約6割の水準で推移している。

精華町における宿泊者数の推移



精華町における宿泊目的（2020年）



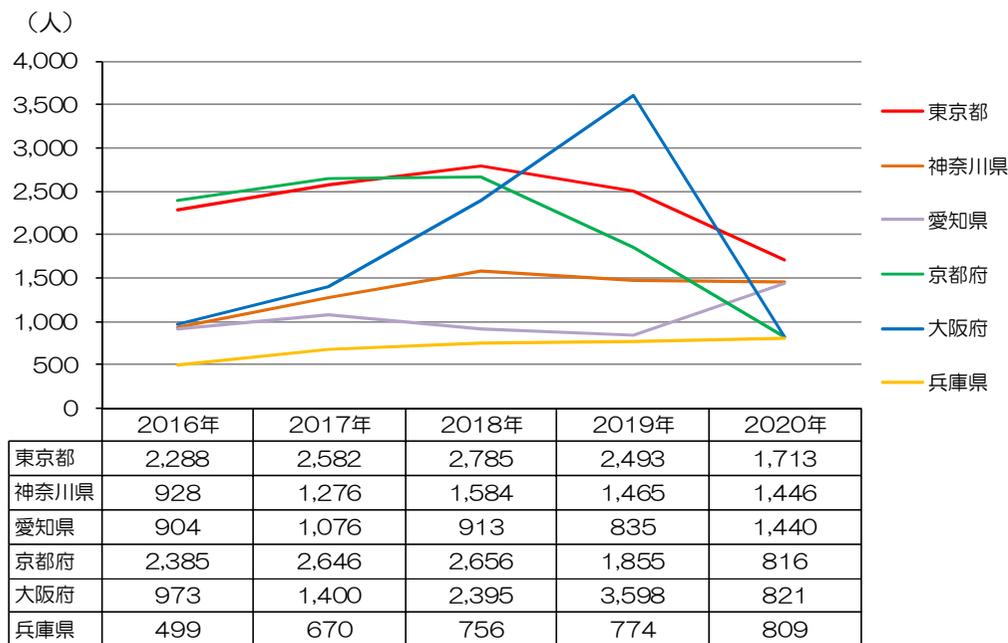
注：集計期間は各年とも1月1日～12月31日
出所：けいはんなプラザホテル提供データを基に作成。

Ⅲ-1.新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および 周辺企業への出張需要調査（宿泊者数の推移②）

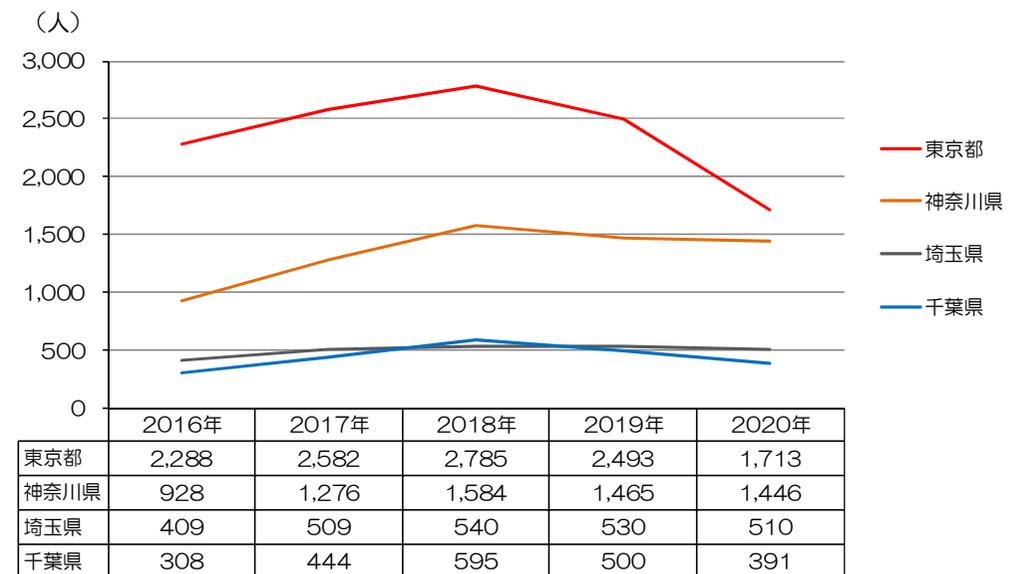
精華町における宿泊者数を都道府県別にみると、近隣については、京都府、大阪府からの宿泊者は2020年に大幅に減少しているが、兵庫県からは増加傾向が続いている。

2020年の宿泊者数をみると、東京都が最も多く、次いで、神奈川県、愛知県と続いている。東京都は緊急事態宣言の影響から減少しているが、神奈川県はほぼ横ばい、愛知県については増加しており、コロナ禍でも出張目的で精華町に宿泊していることがうかがえる。

精華町における宿泊者数の推移（都道府県別）



<ご参考> 精華町における宿泊者数の推移（首都圏）



注：集計期間は各年とも1月1日～12月31日

出所：けいはんなプラザホテル提供データを基に作成。

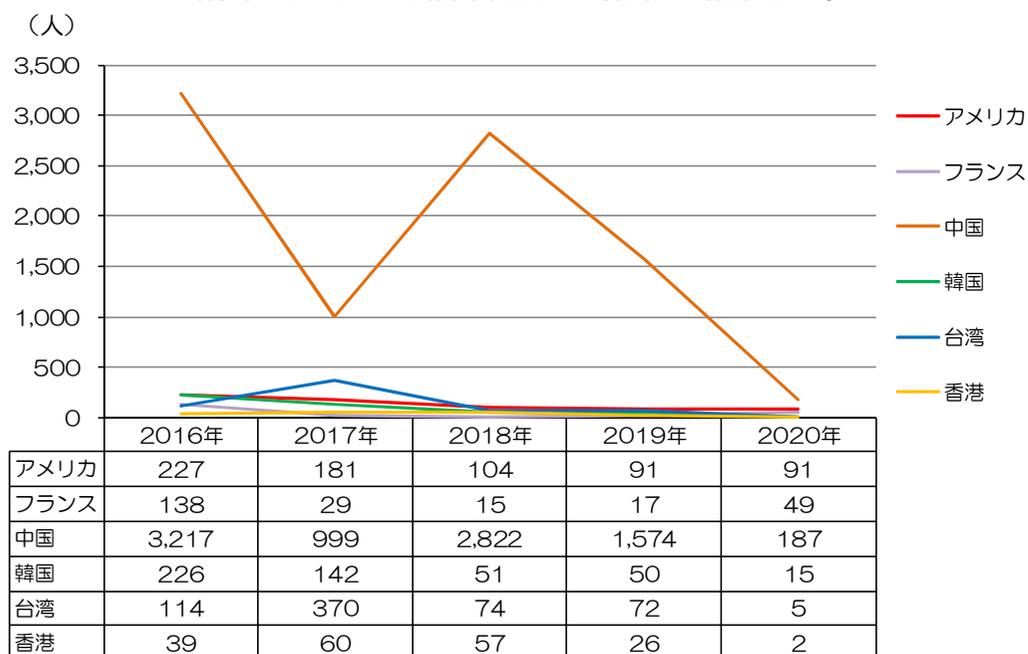
Ⅲ-1.新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および 周辺企業への出張需要調査（宿泊者数の推移③）

精華町における宿泊者数を国籍別にみると、すべての年で中国からが最も多い。そのほか、アジアでは韓国や台湾、欧米ではアメリカとフランスが比較的多くなっている。

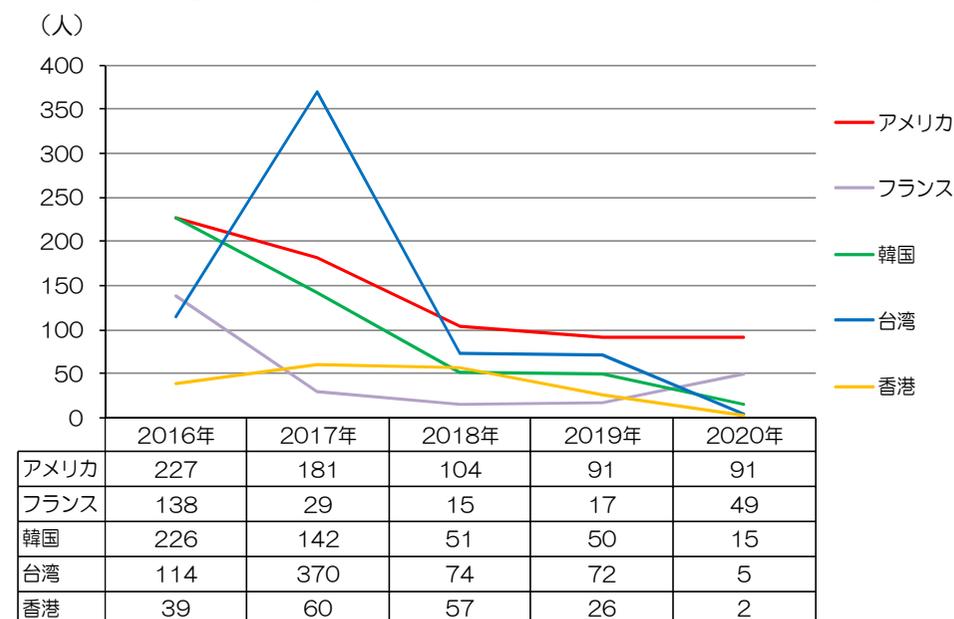
中国からの宿泊者の推移をみると、2017年は宿泊金額の値上げに伴い減少したが、宿泊金額を戻した2018年は増加に転じている。2019年と2020年については、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少している。

中国を除いてみると、韓国や台湾、香港などアジア圏からの宿泊者はピーク時から激減しているが、アメリカとフランスについてはコロナ禍でも出張目的で訪れていることがうかがえる。

精華町における宿泊者数の推移（国籍別）



精華町における宿泊者数の推移（国籍別、中国を除く）



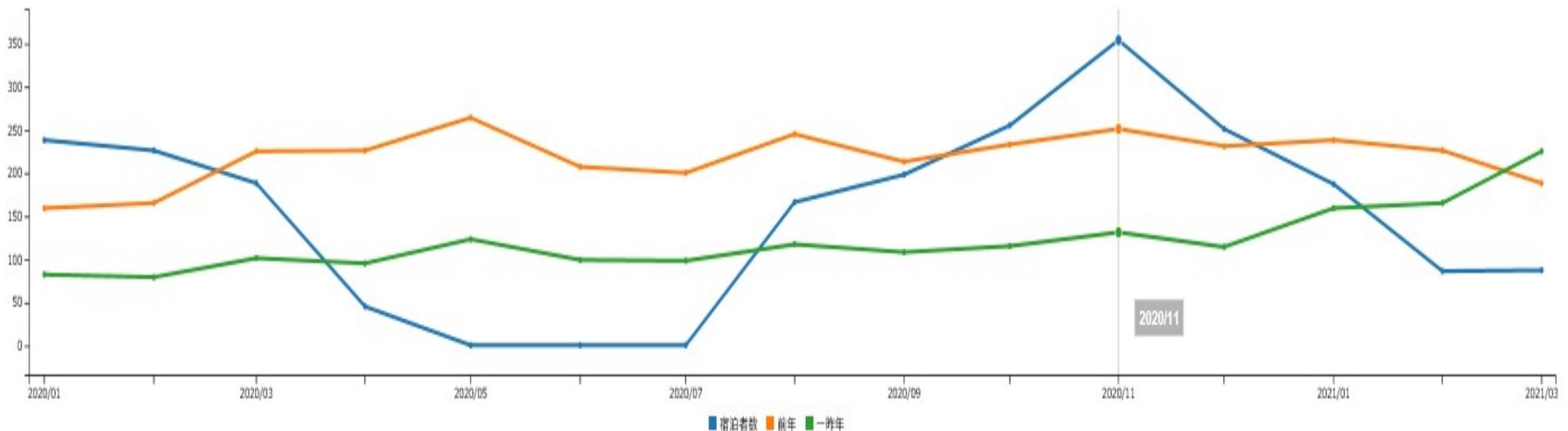
注：集計期間は各年とも1月1日～12月31日
出所：けいはんなプラザホテル提供データを基に作成。

Ⅲ-1.新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および 周辺企業への出張需要調査（月別宿泊者数の推移）

キャンピングオフィス体験ワークショップでは学研都市企業も複数参加していたことから、当日にコロナ禍におけるビジネス・出張ニーズの動向についてヒアリングを実施したところ、自社への出張者は夏場以降に回復したものの、12月以降は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い再び減少したとの回答がみられた。

「観光予報プラットフォーム」で2020年の月別宿泊者の推移をみると、4月～7月にかけて大幅に減少した後、「Go Toキャンペーン」の影響により10月と11月は大幅に増加している。しかしながら、2021年になると新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、再び減少に転じている。

図 精華町における月別の宿泊者数の推移



出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)

Ⅲ-1.新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および 周辺企業への出張需要調査（ヒアリング結果①）

新型コロナウイルス影響下でのホテル需要について、2021年3月にけいはんなプラザホテルへヒアリングを実施（緊急事態宣言の延長もあり、ヒアリング日程がずれ込んでいる）。ヒアリング結果については、下記のとおり。

- ・2020年度のホテル稼働率は、最も低い時で20%前半まで落ち込んだが、10月・11月のGoToキャンペーン、ドンキホーテの建設関係者の宿泊特需もあり、通年でみると45%で推移している。
- ・元々、観光客のウェイトは1割程度で出張客が大半を占めている。コロナ禍でも宿泊者の都道府県別構成比をみると、東京都が最も多く、次いで、神奈川県となっている（2021年3月11日時点）。
- ・2階のレストランはコロナ禍以降営業を中止していたが、運営事業者は同一のまま提供するサービスをフレンチからステーキレストランに切替えて、3月13日に営業を再開している。
- ・MICEについては、2020年に開催予定であった「日・スペインシンポジウム」が延期されており、今年開催を予定している（200人～300人規模）。国際会議等は企画から開催までに2年を要するため、当面はMICEの需要回復は難しいとみている。
- ・ホールや大・中・小の会場を会議や勉強会向けに貸し出すプランを実施しており、一定の利用がある（大ホールの収容人数を1,000人から500人にするなど、規模を縮小して運営）。コロナ禍で15名～30名の小規模での勉強会・研修会利用はこのところ増えてきている。
- ・最近ではWILLER株式会社が自社の勉強会（約15名）向けに利用し、参加者はそのまま宿泊している。また、看護資格等の専門学校である学校法人青丹学園が合宿勉強会場として利用。1班15名×4班の計60名で5日間宿泊し、合同授業は会場、各人の勉強は個室で行った。

Ⅲ-1.新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および 周辺企業への出張需要調査（ヒアリング結果②）

新型コロナウイルス影響下でのホテル需要について、2021年3月にけいはんなプラザホテルへヒアリングを実施（緊急事態宣言の延長もあり、ヒアリング日程がずれ込んでいる）。ヒアリング結果については、下記のとおり。

- ・京都橘高校の吹奏楽部から、夏合宿場所として問い合わせがきている。同校は従来は5名1部屋で合宿を行っていたが、コロナ禍で3密を避けながら宿泊できる場所を探していたところ、音楽ホールと宿泊施設を備えたけいはんなプラザホテルが候補に挙がっている。
- ・合宿利用の場合は、1人あたりの合宿代を抑えたプランにする必要があり、ツイン部屋にベッドを追加してトリプル利用にするほか、食事をバイキング形式の検討や弁当にするなど工夫している。なお、会議室やホールは京都府の所有となっているため、利用料を抑えるためには都度、京都府に割引プラン等の企画販売の了承を得る必要がある。
- ・コロナ禍前まで一定の利用があったスポーツ合宿需要についてはまだ回復していない。宿泊客は城陽市総合運動公園まで練習に行ったり、ラグビーやアメフト、空手などの競技で同志社大学との対戦校が利用するケースが多い。
- ・音楽ホールにはスタインウェイとヤマハのグランドピアノを設置しており、1,000人収容ホールで、ピアノを弾いてみたい方を募集してみたところ、新聞で紹介されたこともあり、反響が大きかった。そのなかで、中国のプロピアニストが弾きに訪れた。同ピアニストはピアノの利用でけいはんなプラザホテルと契約できるのなら、自身が教えている学生も連れて弾きにきたいと話しており、ホール等の設備も含めたインバウンド需要も可能性がある。
- ・映画上映については、利用者が激減している。1作品について1日3回上映を2日間続けて行い、観客が900人入れば採算が取れるが、実際には400人程度にとどまっている。
- ・テレワークプランも用意しており、8時間3,400円で提供しているが、1か月で5室～10室の利用にとどまっており、利用者も遠方からではなく近隣住民が利用している。
- ・団体ニーズにも対応できるようエキストラベッドを購入し、最大93名まで受入可能である。
- ・修学旅行需要は、5月～11月まで1か月あたり5校と計30校の仮予約が入っている。ただし、実際に予約が確定するのはそのうち3割程度と思われる。

Ⅲ-1.新型コロナウイルスの影響下での精華町におけるホテル需要および 周辺企業への出張需要調査（今後の宿泊動向）

「観光予報プラットフォーム」では、過去の宿泊実績データおよび先行6か月分の宿泊予約データ分を基に算出された週別・月別の混雑予想をみることができる。3月末以降の週別の混雑予想をみると、お花見シーズンであることから、3月29日の週は混雑が予想されている。月別にみると、4月と8月でやや混雑が予想されている。

図 精華町における宿泊予想（週別）

		3/15週	3/22週	3/29週	4/5週	4/12週	4/19週
混雑予想		No Data	No Data		No Data	No Data	No Data
増加率（対前年比）	全体	No Data	No Data		No Data	No Data	No Data
	海外からの増加率	No Data					
	国内からの増加率	No Data	No Data		No Data	No Data	No Data

図 精華町における宿泊予想（月別）

		3月	4月	5月	6月	7月	8月
混雑予想					No Data	No Data	
増加率（対前年比）	全体			No Data	No Data	No Data	
	海外からの増加率	No Data					
	国内からの増加率			No Data	No Data	No Data	

かなり混雑 混雑 やや混雑 やや空いている 空いている

上昇中 前年並み 下降中

出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)（集計データは2021年3月15日時点）

Ⅲ-2. 町内ホテルにおける今後のビジネス施策の検討

コロナ禍で働き方は大きく変化し、ワーケーションやテレワークの動きが拡大している。こうしたなか、株式会社スノーピークビジネスソリューションズは、自然を感じながら、人と人が心を通わせ、人間らしくワクワク働ける仕事環境である「キャンピングオフィス」事業を全国各地で展開している。

例えば同社は、東京都のグランドプリンスホテル新高輪内に、自然に囲まれたダイヤモンドプールのプールサイドに、株式会社スノーピーク（以下、スノーピーク）のテント&タープを設営し、キャンピングオフィス研修プランを提供している。

また、京急電鉄とスノーピークが2017年6月に観音崎京急ホテルにオープンしたスノーピーク初の常設グランピング施設「snow peak glamping 京急観音崎」に続き、共同事業の第2弾として観音崎京急ホテル（神奈川県横須賀市）の屋外スペースで、企業研修やオフサイトミーティングを行うプランを共同で開発・販売している。

観音崎京急ホテルでのサービス利用風景



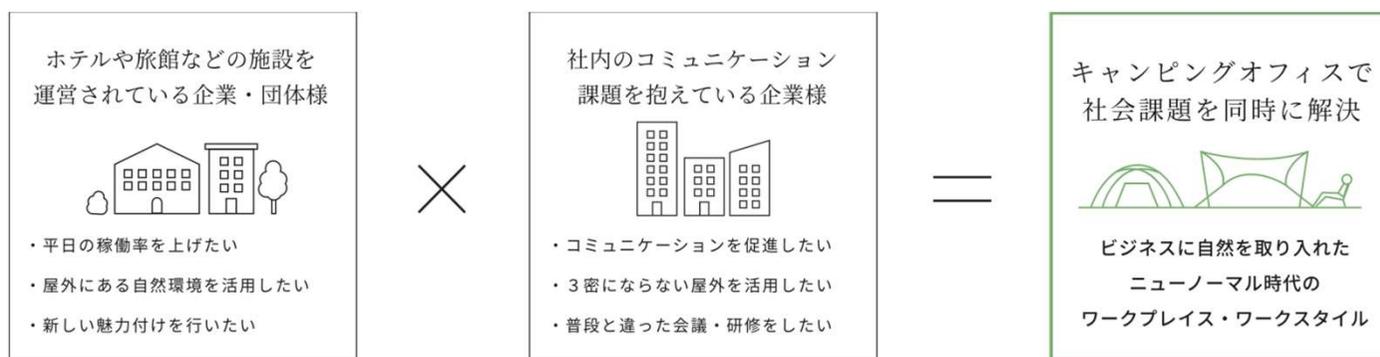
出所：京急電鉄ホームページより抜粋

Ⅲ-2. 町内ホテルにおける今後のビジネス施策の検討

コロナ禍でホテルや旅館で宿泊者数が減少する一方、在宅勤務を中心とした働き方が広がり「コミュニケーション不足」に不安を抱える人は増えている。こうしたなか、株式会社スノーピークビジネスソリューションズは、ホテルや旅館など宿泊施設の稼働率向上に向けた取組みとして、「キャンピングオフィス」の施設パートナーを全国的に募集している。同社は、取り組みに賛同したパートナーと、安心して対面コミュニケーションが行える場所を求める企業をつなげることで、社会課題の解決を目指している。

同社によると、同社の研修やオフサイトミーティングに参加した企業の約7割が、「屋外」+「屋内施設」の環境を選択しており、屋外でアウトドア会議や焚火トークができる環境に加えて、屋内に宿泊できる施設を有している方が、「手軽にアウトドアワークスタイルを体験できる」と支持される傾向がある。

同社ではパートナー施設に合わせたオリジナルプランを作成できるので、その土地や施設ならではの魅力あふれるプログラムにすることが期待できる。



1泊2日での過ごし方のイメージ

日中は開放的な自然の中で会議や食事、焚火を行い、夜は宿泊施設で就寝。
(アウトドアの体験価値と宿泊施設の体験価値を掛け合わせた過ごし方)

1日目



13:00
テント設営



14:00
アウトドア会議



17:30
BBQ



19:30
焚火トーク



21:00
宿泊施設で就寝

2日目



8:00
朝食



9:00
アウトドア会議



11:00
テント撤収



12:00
終了



12:00~
その他観光施設

出所：株式会社スノーピークビジネスソリューションズホームページを基に作成。